

SPICA 報告

- 前回報告(2021年3月)以降の主要な動きを報告する
- ESA Preliminary Requirement Review (PRR) 2021年6月
 - ESA側の衛星システム検討のレビュー。
 - **SPICAは衛星システムとして技術的に成立していることを確認。**
- SPICA終了審査(2021年6月14日説明会、28日 本審査会)
 - 2008年(旧SPICA)～2020年(新SPICA計画中断)までを対象。
 - 活動成果とその継承計画、教訓・知見の抽出、資金・体制等について評価。
 - おおむね妥当であると評価された。検討中断により**遠赤外線天文学に大きく遅延**が生じたことが言及された。
- 国際共同プロジェクトにおける概念設計 検討委員会(通称、「検討委員会」)
 - 終了審査とリンクして、SPICAの検討中断に至った要因分析を第三者委員会的に行い、**将来の大型国際協力ミッション検討への提言**を行う。
 - **最終報告書は10月に公開予定**
- チームの活動
 - **SPICAの活動は、ISAS宇宙物理学研究系として引き継ぎ、発展させる。**
 - SPICA活動の成果とりまとめ、継承のための文書化を進めている
 - 将来ミッションへの検討への活用(GREX-PLUSなど)
- SPICAが目指したサイエンスの一部は、GREX-PLUSでの実現を検討している。その他の**SPICAサイエンス(特に遠赤外線サイエンス)**をどのようにリカバリーしていくか、米国 Decadal Surveyの結果を受けて、**国際的なコミュニティで議論していく必要がある。**